

2025年12月



Houlihan
Lokey



Industrial Technology Sector Update

2025年 4-9月期

Strictly Confidential. Not for Distribution.

ご挨拶

レポートをご覧の皆様へ

フリーハン・ローキーのインダストリアルテクノロジーチームより、マテハン・ロボット・FA業界の最新動向をまとめた四半期アップデートをお届けします。

今回お伝えしたいメッセージは、「インダストリアル・テクノロジーセクターの潮目が変わった」ということです。

各社の業績について、2025年第2四半期は、トランプ政権の関税政策や地政学リスクといったマクロ環境の不安定さは残るものの、世界的に自動化投資需要は回復してきており、特にマテリアルハンドリングや半導体、ライフサイエンス等の領域において受注環境が改善し、増収増益を記録する企業が増加しました。

本セクターの株価については、トランプ政権の関税政策や地政学リスクといったマクロ環境の不安定さはありながらも、FA関連市場での在庫滞留が解消しエンドマーケット市況も戻りつつあることから、回復傾向です。しかし、パフォーマンスは依然として市場インデックスを下回る結果となっております。

M&A市場に目を向けると、足許のマクロ状況を踏まえ、投資に対する慎重な姿勢は継続しており、2025年第2四半期以降は件数が減少傾向にあります。他方で、一部の企業は積極的に大型投資を行っており、金額規模は従前よりも増加する結果となりました。先進技術の獲得を企図した出資案件は引続き見られる一方で、ファンドをスポンサーとした非公開化が複数件発表されるなど、市場再編の動きは活発になっています。

主な日本企業関連案件としては、タイヨウ・パシフィック・パートナーズによるスター精密の非公開化や、ソフトバンクグループによるABBのロボティクス事業の買収、日本産業パートナーズによる三菱ロジスネクストの非公開化が発表されました。海外では、Rivean CapitalによるEngelmann Sensorの買収などが発表されています。

本レポートが本業界に関する直近動向の整理の一助となりましたら幸いです。ご質問やお気づきの点等がございましたら、お気軽に下記担当者までご連絡ください。

皆様からの忌憚なきご意見をお待ちしております。

HLインダストリアルテクノロジーチーム

2025年12月

インダストリアルテクノロジーセクター カバレッジチーム

セクター情報掲載Webサイト



村井 慎
Managing Director
Shin.Murai@HL.com
+81-80-9022-1577



加藤 勇希
Associate
Yuki.Kato@HL.com
+81-70-8680-9892

日本最大級のM&Aコンテンツサイト
フリーハン・ローキー「[インサイト](#)」

[フリーハン・ローキー](#)
[HP](#)

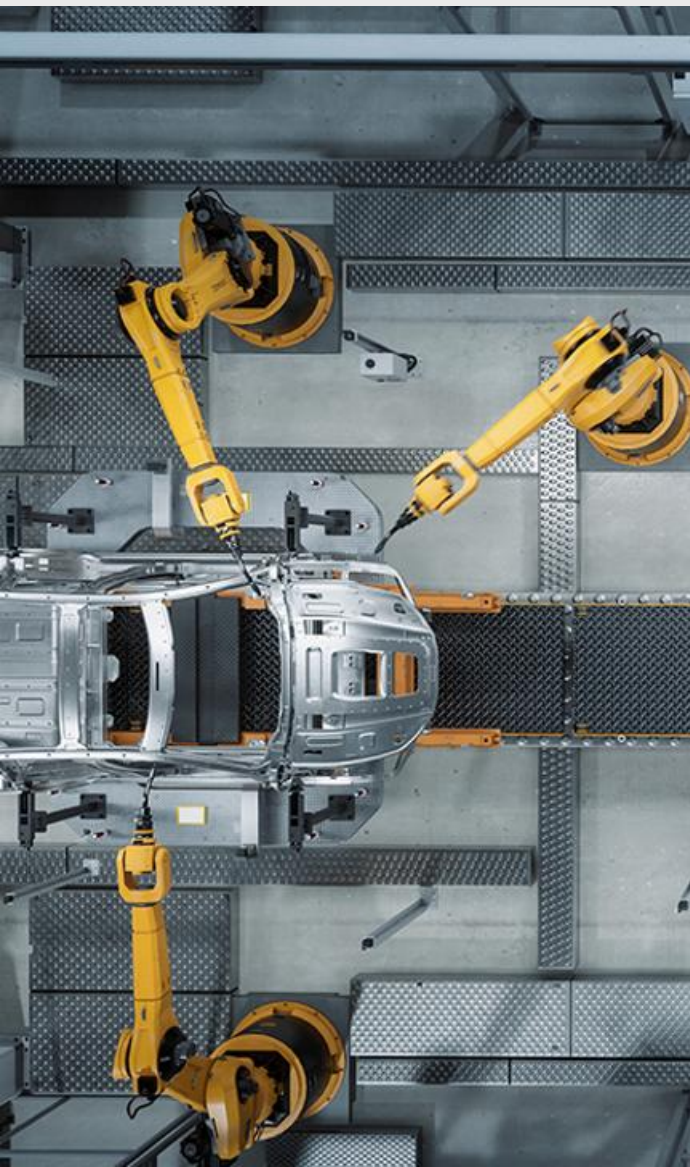


Houlihan Lokey





Houlihan
Lokey



01

業績アップデート

4

02

株価・バリュエーション推移

12

03

M&A動向

18

04

Appendix.
- Data Sheet

27

A perspective view of a long industrial production line. Multiple orange robotic arms are positioned along both sides of a dark, perforated metal conveyor belt that recedes into the distance. The factory has a high ceiling with a complex steel truss structure and several bright, rectangular light fixtures. The overall atmosphere is one of modern, automated manufacturing.

01

業績アップデート

本レポートにおけるサブセクター区分と採用企業一覧

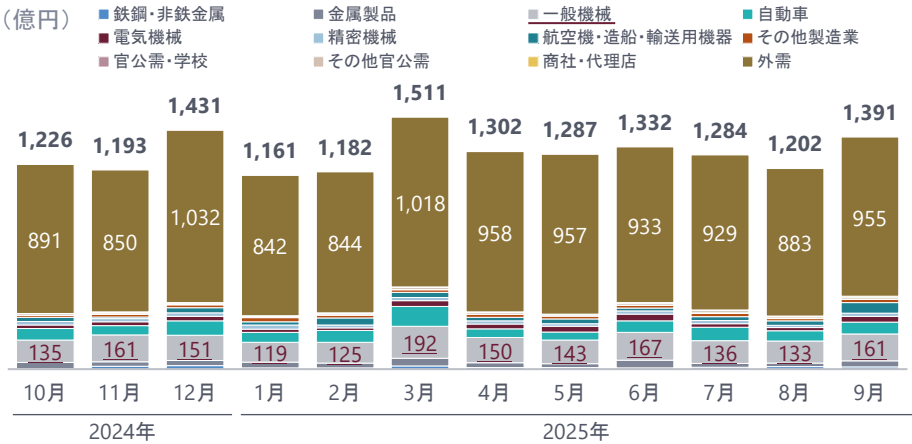
サブセクター区分	定義	採用企業
国内マテハン	<ul style="list-style-type: none"> 自動倉庫等保管システム 工場内・倉庫内物流 クリーンルーム搬送システム 	      
海外マテハン	<ul style="list-style-type: none"> クリーンルーム搬送システム 空港ラゲッジハンドリング 上記関連エンジニアリングサービス 等 	      
国内ロボット	<ul style="list-style-type: none"> 産業ロボット、協働ロボット、半導体ウェハ搬送ロボット 関連エンジニアリングサービス 等 	    
国内FA	<ul style="list-style-type: none"> センサー モーションコントロール（モーター、減速機、アクチュエータ） 半導体及び各種試験・検査装置 	            
海外FA	<ul style="list-style-type: none"> コントローラー・フローコントローラー オートメーション関連機器 プロセスオートメーションソフトウェア 関連エンジニアリングサービス 等 	       
その他 コングロマリット	<ul style="list-style-type: none"> 多角的に事業を展開する企業のうち、マテハンやFA関連事業を展開する企業群 	       

マクロデータ① - 国内設備投資・各国製造PMI指数

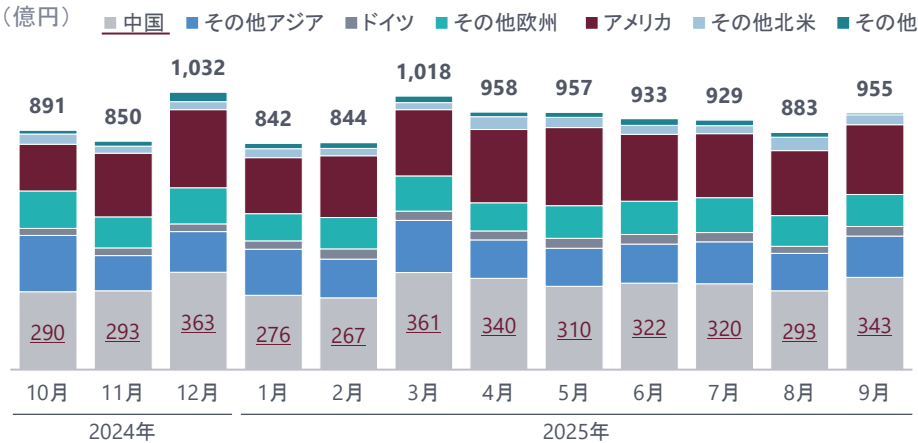
国内の設備投資は、2024年後半から概ね横ばいで推移。トランプ政権の関税政策により、2025年以降各国のPMI指数は低迷し、50を下回る水準が継続。他方、ユーロ圏ではドイツのインフラ・国防投資拡大を背景にPMI指数は8月に50を超えるなど、景気回復の兆しも見えつつある

国内設備投資受注額の推移(億円)

業種内訳

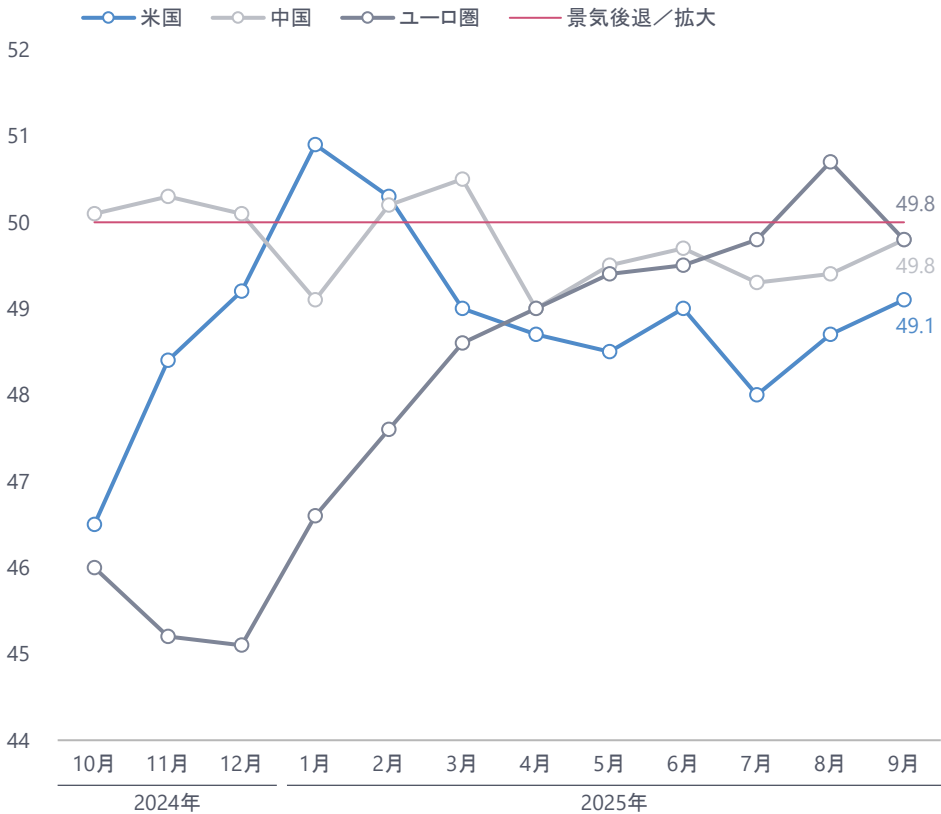


外需輸出先内訳



主要各国の製造業購買担当者景気指数(PMI)推移

- 製造業購買担当者景気指数は新規受注・生産・雇用・入荷遅延・在庫の5つの項目からなる総合指数
- 50を下回ると景気後退、50を上回ると景気拡大を示す

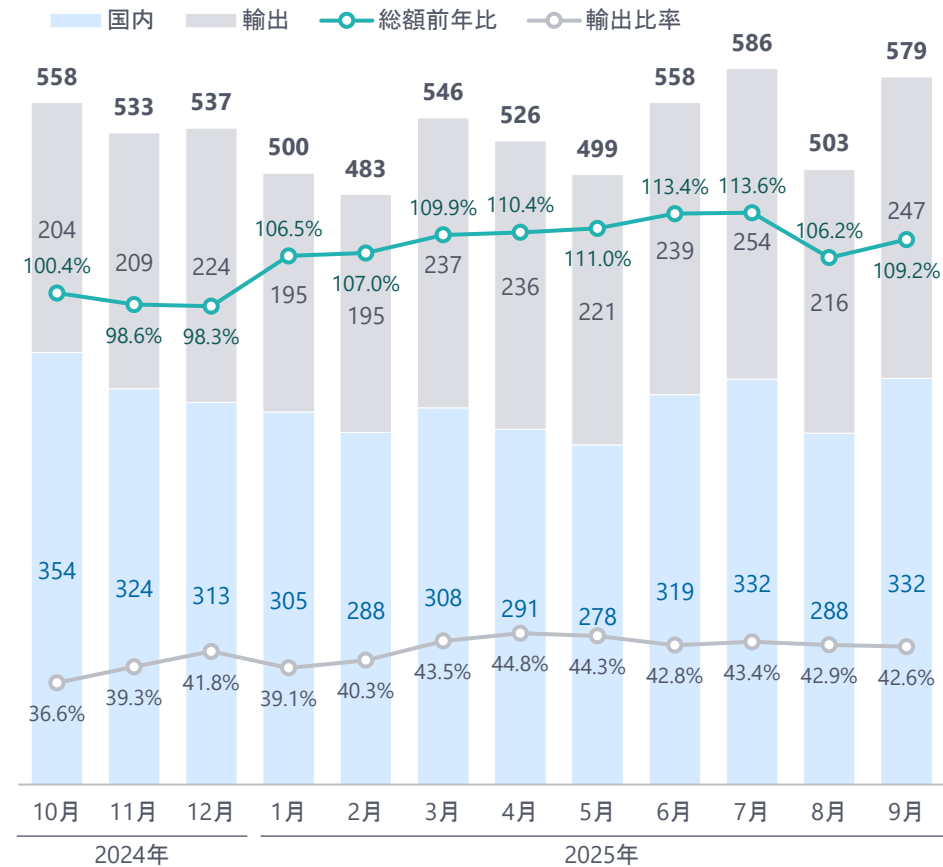


マクロデータ② - 電気制御機器出荷統計

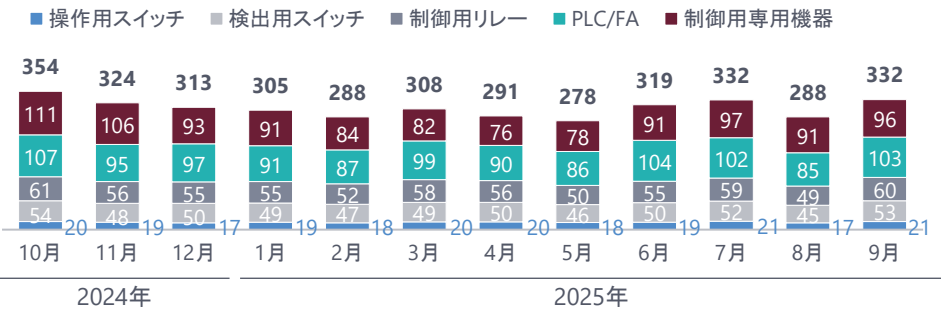
輸出額は増加傾向にあり、出荷総額も25年1月からは前年同月比で増加を記録する等、市況の回復傾向がうかがえる。関税問題を抱える北米向けの輸出総額は減少傾向にある一方、アジア向けの輸出総額は増加傾向（特に、EV関連、データセンター、再生可能エネルギー関連）。中国向けの輸出増加は、製造業の高度化という国策に伴い、日本製の高性能な制御機器に対する需要が高まっている

出荷総額推移(億円)

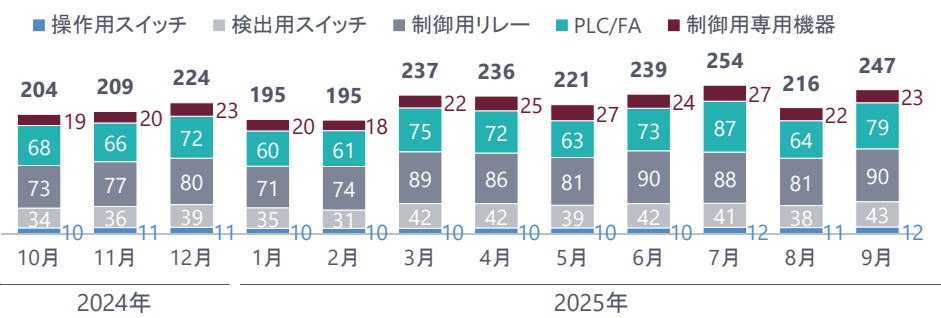
- 2025年9月期の出荷総額は579億円で、前年同月比で9.2%、2025年8月比で15.1%増加
- 輸出比率は2025年2月以降40%代前半を維持



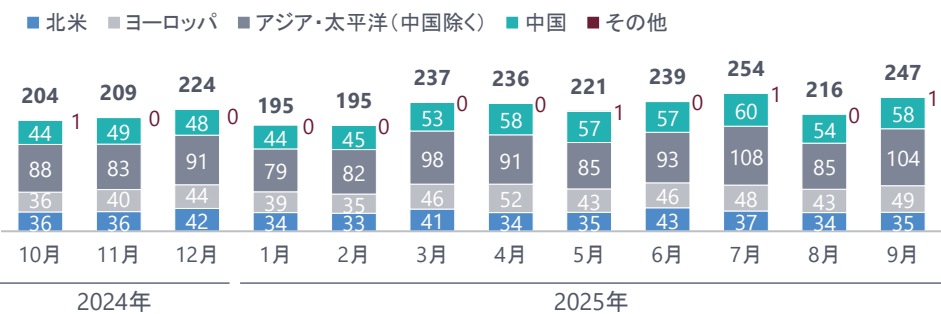
製品別国内出荷総額推移(億円)



製品別輸出出荷総額推移(億円)



地域別輸出出荷総額推移(億円)



国内各社業績の状況(四半期比較 前期2Q(4-9月期)累積 vs. 今期2Q累積)

中国での半導体国産化や、生成AI向け半導体の需要回復など、半導体投資回復により多くの企業が増収増益を記録。他方で、トランプ関税の影響として、日本企業部品が組み込まれた、中国やアジア諸国の最終製品の米国輸出が落ち込むことで、部品メーカーは間接的な影響を受けている

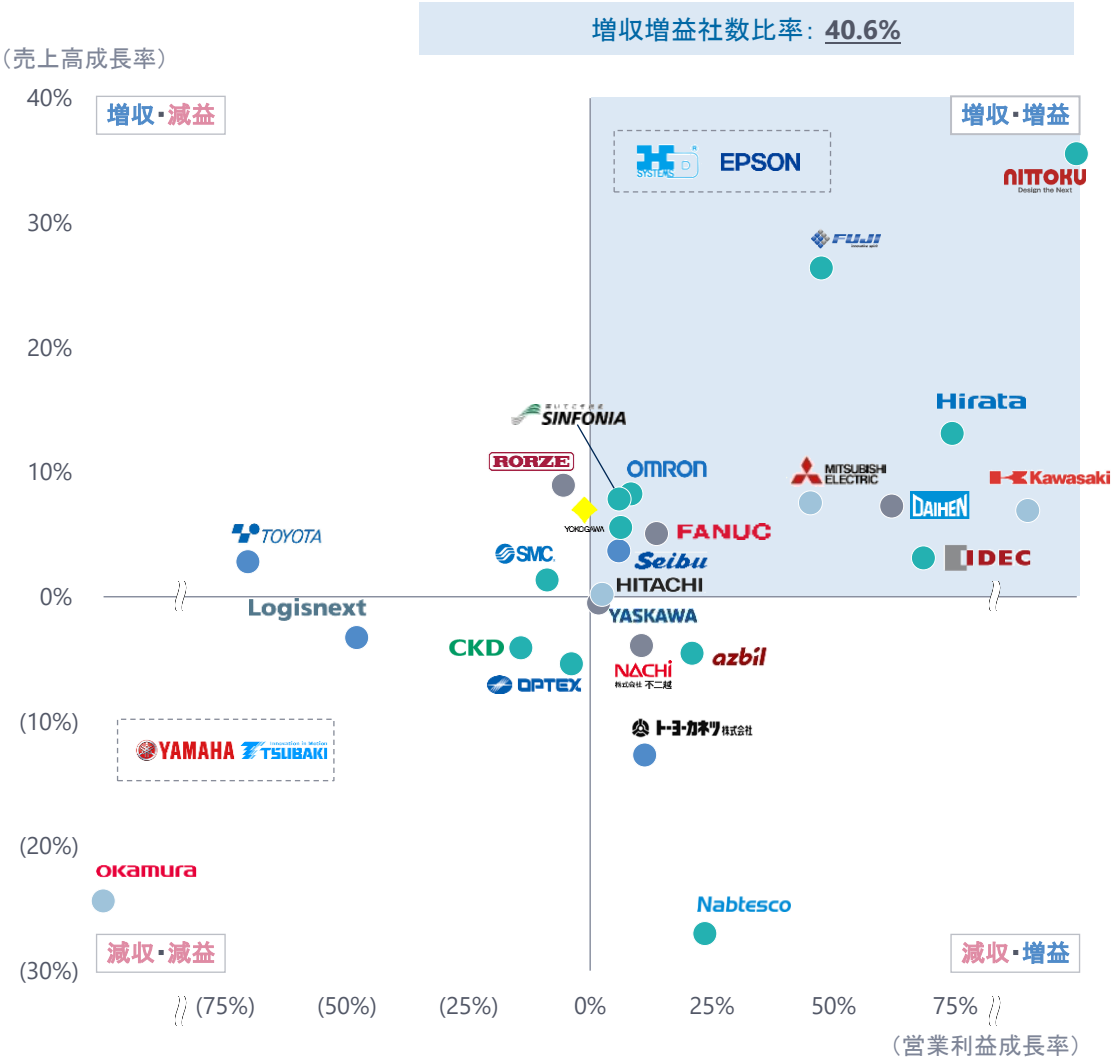
売上高・営業利益成長率(前年同四半期累積⇒直近四半期累積)

(億円)		売上高			営業利益			
		23/9	24/9	25/9	23/9	24/9	25/9	
国内 マテハン	ダイフク		NA	NA	4,860	NA	NA	752
	トーヨーカネツ	物流ソリューション 事業	133	183	160	7	20	23
	椿本チエイン	マテハン事業	300	329	295	(16)	(1)	(5)
	豊田自動織機	産業車両事業	12,154	13,798	14,184	811	959	285
	三菱ロジスネクスト		3,438	3,285	3,177	227	154	80
	西部電機	搬送機械事業	57	53	55	7	4	4
	村田機械		NA	NA	NA	NA	NA	NA
国内 ロボット	ローツェ ⁽¹⁾		410	602	656	100	171	162
	不二越 ⁽¹⁾	機械工具事業	665	568	546	59	23	25
	安川電機 ⁽¹⁾		2,890	2,616	2,602	331	229	233
	ダイヘン	FA事業	173	141	152	22	5	8
	ファナック		3,987	3,880	4,076	665	756	860
国内FA	平田機工		374	404	456	31	28	48
	オムロン	IAB	2,104	1,745	1,888	174	174	188
	横河電機	制御事業	2,362	2,506	2,645	295	339	361
	アズビル		1,319	1,393	1,329	130	146	177
	HDS		288	266	278	9	(6)	5
	ナブテスコ ⁽¹⁾	コンポーネント ソリューション事業	1,077	789	575	89	32	39
	CKD		665	758	726	61	92	79
	SMC		3,936	3,951	4,003	1,051	995	908
	シンフォニアテクノロジー		468	518	558	29	57	61
	FUJII		626	630	795	66	65	96
	NITTOKU		132	142	193	17	0	24
	IDEC		378	331	341	40	16	26
	オブテックスG	IA事業	216	249	236	20	26	25
その他 コングロ マリット	IHI	物流・産業 システム事業	141	160	156	NA	NA	NA
	オカムラ	物流システム事業	98	110	83	9	9	(5)
	三菱電機	FAシステム事業	3,963	3,516	3,780	523	234	340
	川崎重工業	ロボット事業	1,030	1,095	1,170	(46)	19	43
	セイコーエプソン	M&W事業	876	852	968	18	(5)	53
	デンソー	非車載事業	952	586	625	NA	NA	NA
	ヤマハ発動機 ⁽¹⁾	ロボティクス事業	709	775	759	(23)	(22)	(25)
	日立製作所	DSS・CI事業	24,815	26,397	26,444	2,808	3,362	3,446

Source: 決算短信、決算説明会資料

Note:

(1) 24/4~9期と25/4~9期の比較が基本も、ローツェ、安川電機は24/3~8期と25/3~8期、不二越は23/12~24/8期と24/12~25/8期、ナブテスコとヤマハ発動機は24/1~9期と25/1~9期を比較表内にラベルを付した企業は、該当セグメントのデータを使用。IHI及びデンソーについては、それぞれ物流・産業システム事業/非車載事業の四半期・通期事業利益が取得不可であるため、NA。HDS・セイコーエプソンは、営業利益成長率の計算が不可であるものの、増収増益。椿本チエイン・ヤマハ発動機は、同じく計算不可であるが、減収減益。ダイフクは決算期変更のため、比較不可



海外各社業績の状況(四半期比較 前期3Q(1-9月期)累積 vs. 今期3Q累積)

トランプ政権の関税政策や地政学リスクといったマクロ環境の不安定さは残るものの、世界的に自動化設備への需要は回復してきており、マテリアルハンドリングや半導体、ライフサイエンス等の領域において受注環境が改善

売上高・営業利益成長率(前年同四半期累積⇒直近四半期累積)

(Reported Currency MM)		売上高			営業利益		
		23/9	24/9	25/9	23/9	24/9	25/9
海外マデハン	Honeywell (\$)	27,222	28,410	30,582	5,960	6,312	6,288
	Kion (€)	8,347	8,435	8,200	468	569	303
	Kardex (CHF)	335	370	416	43	48	49
	Interroll (CHF)	256	247	248	29	30	28
	Durr (€)	3,299	3,148	3,052	163	115	(4)
	Autostore (NOK)	469	437	359	176	163	85
	Jungheinrich (€)	4,020	3,923	4,008	339	320	160
海外FA	ABB (\$)	23,990	24,260	25,918	3,681	4,077	4,831
	Siemens ⁽¹⁾ (€)	74,882	75,930	78,914	9,401	9,659	9,594
	Schneider Electric (€) (\$)	17,633	18,173	19,336	2,945	3,098	3,298
	Rockwell Automation ⁽¹⁾	9,058	8,264	8,342	1,610	1,309	1,422
	ATS ⁽¹⁾ (CAD)	1,489	1,307	1,465	163	111	136
	Emerson Electric ⁽¹⁾ (\$)	15,165	17,492	18,016	2,904	3,017	3,613
	Inovance	20,121	25,397	31,663	3,279	3,525	4,244
	Teradyne (\$)	2,006	2,067	2,107	386	388	355

(ご参考)USD換算後財務数値⁽²⁾

(USD MM)		売上高			営業利益		
		23/9	24/9	25/9	23/9	24/9	25/9
海外マデハン	Honeywell	27,222	28,410	30,582	5,960	6,312	6,288
	Kion	8,835	9,408	9,621	495	635	355
	Kardex	365	396	488	47	52	57
	Interroll	286	275	311	32	33	35
	Durr	3,492	3,511	3,581	173	128	(4)
	Autostore	469	437	359	176	163	85
	Jungheinrich ⁽²⁾	4,255	4,375	4,703	359	357	188
海外FA	ABB	23,990	24,260	25,918	3,681	4,077	4,831
	Siemens ⁽¹⁾	79,257	84,687	92,589	9,950	10,773	11,257
	Schneider Electric	19,250	19,472	22,708	3,215	3,319	3,873
	Rockwell Automation ⁽¹⁾	9,058	8,264	8,342	1,610	1,309	1,422
	ATS ⁽¹⁾	1,101	969	1,051	121	82	97
	Emerson Electric ⁽¹⁾	15,165	17,492	18,016	2,904	3,017	3,613
	Inovance	2,758	3,621	4,447	449	502	596
	Teradyne	2,006	2,067	2,107	386	388	355

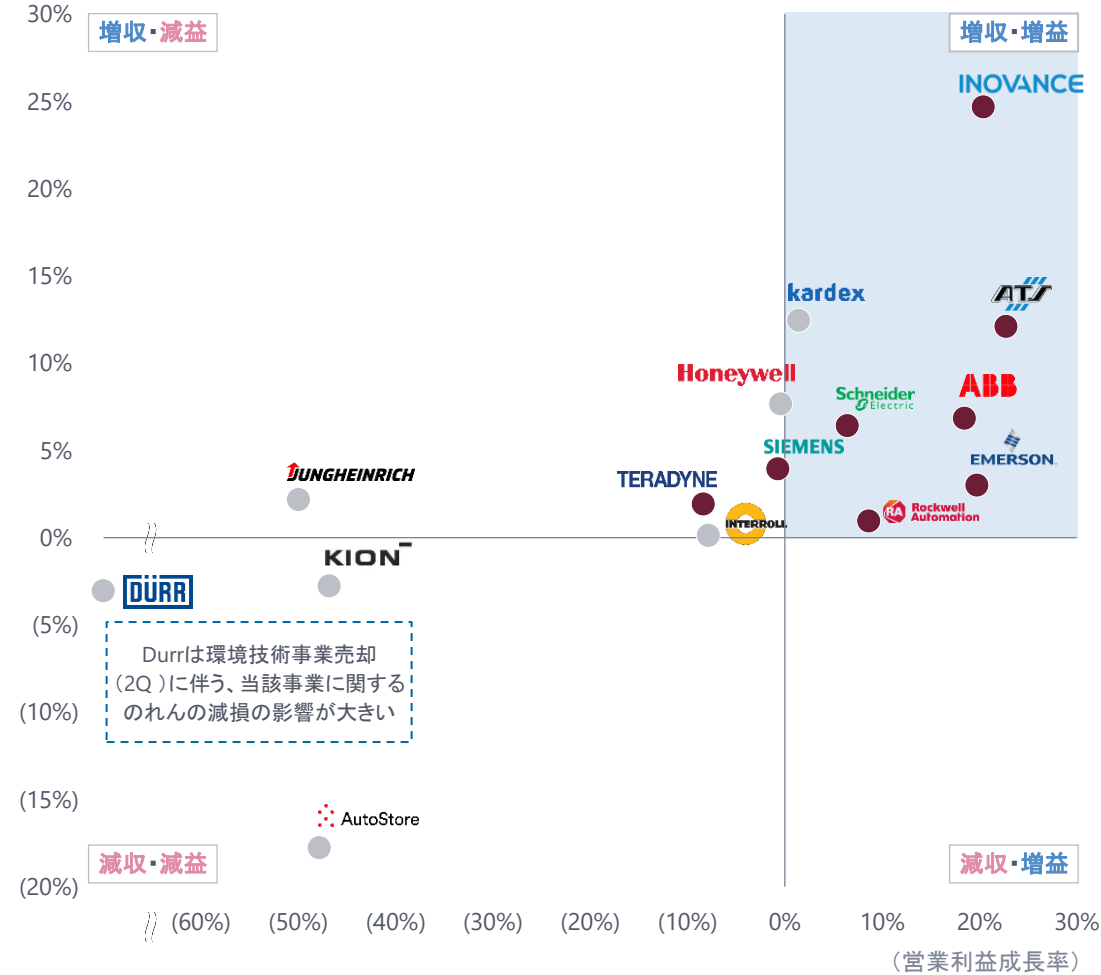
Source: 決算短信、決算説明会資料

Note: 散布図は報告通貨ベースの成長率で作成

(1) 海外企業は24/1~24/9の通期比較が基本も、Siemens、Rockwell、Emersonは23/10~24/9と24/10~25/9、ATSは24/4~24/9と25/4~25/9のそれぞれの累計を比較

(2) 2025年11月21日時点

(売上高成長率)

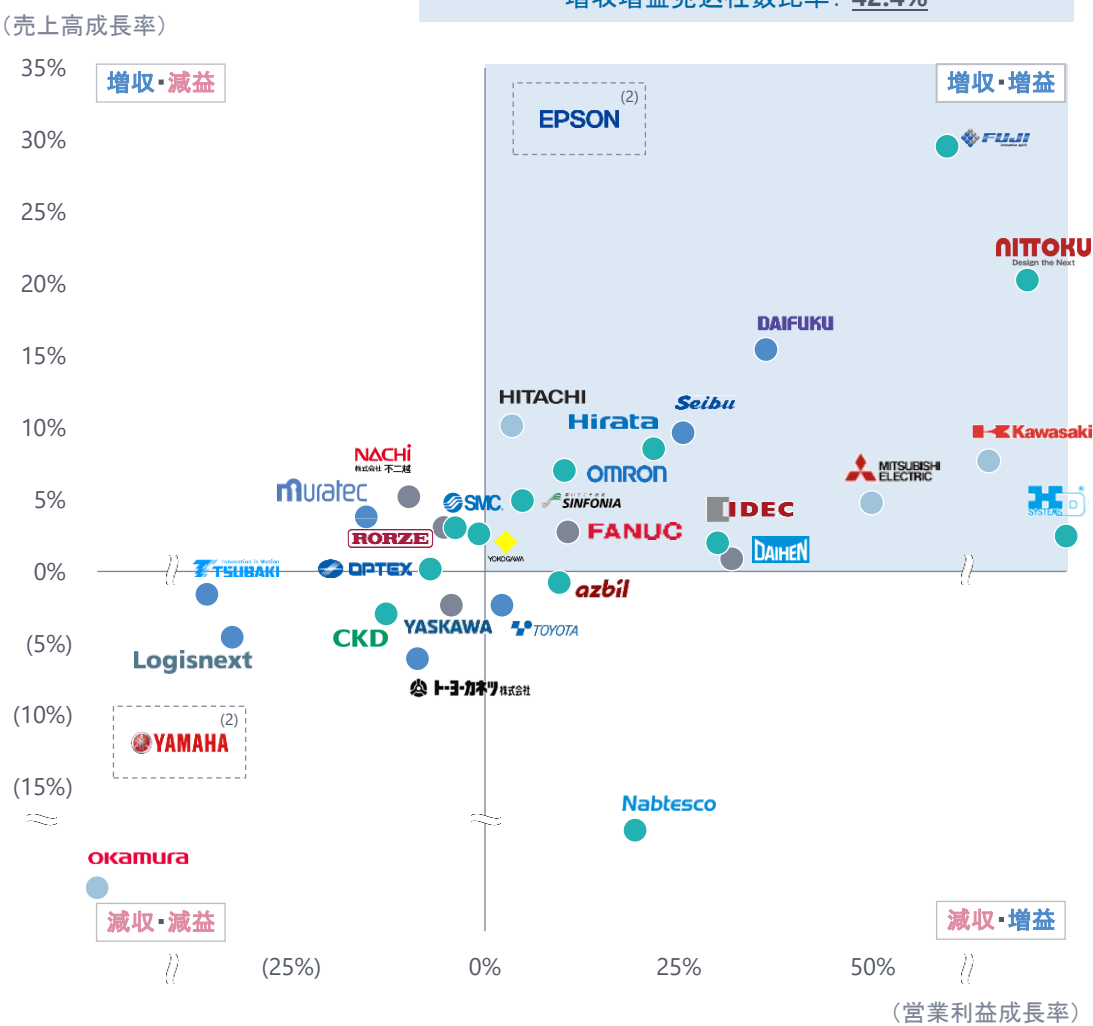


国内各社業績の状況(通期比較 2025年3月期 vs. 2026年3月期見込)

25年3月期は、多くの企業がコロナ期の「需要の先食い」の反動に苦しんだ一方、26年3月期の見通しからは、人手不足、生産性の向上、サプライチェーンの強靱化といった、企業が避けては通れない構造的な課題解決のための設備投資が戻りつつあることが読み取れる

売上高・営業利益成長率(直近通期⇒今期見込)

(億円)		売上高			営業利益			
		24/3	25/3	26/3(E)	24/3	25/3	26/3(E)	
国内 マテハン	ダイフク		6,115	5,632	6,500	621	715	975
	トーヨーカネツ	物流ソリューション 事業	325	378	355	33	37	34
	椿本チエイン	マテハン事業	653	681	670	(12)	12	8
	豊田自動織機	産業車両事業	25,872	27,863	27,200	1,656	1,667	1,704
	三菱ロジスネクスト		7,018	6,656	6,350	426	208	140
	西部電機	搬送機械事業	113	112	123	11	10	13
	村田機械		4,975	5,261	5,459	791	931	789
国内 ロボット	ローツェ ⁽¹⁾		932	1,244	1,282	241	320	303
	不二越 ⁽¹⁾	機械工具事業	855	775	815	64	39	35
	安川電機 ⁽¹⁾		5,757	5,377	5,250	662	502	480
	ダイヘン	FA事業	348	327	330	41	23	30
	ファナック		7,953	7,971	8,188	1,419	1,588	1,759
国内FA	平田機工		828	885	960	60	69	84
	オムロン	IAB	3,936	3,608	3,860	215	363	400
	横河電機	制御事業	5,038	5,283	5,420	717	776	770
	アズビル		2,909	3,004	2,980	369	415	455
	HDS		558	556	570	1	0	15
	ナブテスコ ⁽¹⁾	コンポーネント ソリューション事業	1,381	1,106	790	104	45	54
	CKD		1,344	1,556	1,510	131	190	166
	SMC		7,769	7,921	8,160	1,962	1,902	1,830
	シンフォニアテクノロジー		1,027	1,192	1,250	100	157	165
	FUJI		1,271	1,274	1,650	134	138	220
	NITTOKU		308	333	400	42	11	40
	IDEC		727	674	687	63	37	48
オプテックスG	IA事業	297	337	338	31	38	35	
その他 コングロ マリット ⁽²⁾	IHI	物流・産業 システム事業	355	367	350	NA	NA	NA
	オカムラ	物流システム事業	184	226	150	9	16	(12)
	三菱電機	FAシステム事業	7,664	7,256	7,600	879	467	700
	川崎重工業	ロボット事業	2,279	2,415	2,600	(19)	70	140
	セイコーエプソン	M&W事業	1,708	1,722	1,990	(16)	(32)	130
	デンソー	非車載事業	1,448	1,205	NA	NA	NA	NA
	ヤマハ発動機 ⁽¹⁾	ロボティクス事業	1,017	1,133	1,130	7	(30)	(60)
	日立製作所	DSS・CI事業	52,894	56,223	61,900	6,541	7,594	7,860



Source: 決算短信、決算説明会資料

Note: 本頁では全会社予想を採用も、豊田自動織機・オプテックスの今期予想はアナリストコンセンサスを使用。ダイフクの今期予想は決算期変更後の25/12期見込の数字を使用

(1) 25/3期と26/3期の比較が基本も、ローツェ、安川電機は25/2期と26/2期、不二越は24/11期と25/11期、ナブテスコとヤマハ発動機は24/12期と25/12期を比較

(2) 表内にラベルを付した企業は、該当セグメントのデータを使用。IHI及びデンソーについては、それぞれ物流・産業システム事業/非車載事業の四半期・通期事業利益が取得不可であるため、NA。セイコーエプソンは、営業利益成長率の計算が不可であるものの、増収増益。ヤマハ発動機は、同じく計算不可であるが、減収減益

海外各社業績の状況(通期比較 2024年12月期 vs. 2025年12月期見込)

半導体やライフサイエンス等のハイエンドマーケットを中心に、市況が回復傾向にあり、各社のパイプラインは順調に積み上がっている。第4半期(又は下期)においてこれらの受注の売上計上が順調に進むことが想定され、通期でも増収増益を見込む企業が大半を占める

売上高・営業利益成長率(直近通期⇒今期見込)

(Reported Currency MM)		売上高			営業利益		
		23/12	24/12	25/12(E)	23/12	24/12	25/12(E)
海外 マデハン	Honeywell (\$)	36,662	38,498	40,799	7,554	8,250	9,367
	Kion (€)	11,434	11,503	11,242	618	771	795
	Kardex (CHF)	703	791	878	90	102	103
	Interroll (CHF)	556	527	531	84	78	75
	Durr (€)	4,196	4,291	4,280	147	151	218
	Autostore (NOK)	646	601	501	226	224	158
	Jungheinrich (€)	5,546	5,392	5,487	425	417	195
海外FA	ABB (\$)	32,235	32,850	34,715	4,900	5,407	6,235
	Siemens ⁽¹⁾ (€)	75,930	78,914	83,387	9,659	9,594	12,030
	Schneider Electric ¹ (€) (\$)	35,902	38,153	40,211	5,944	6,630	7,382
	Rockwell Automation ⁽¹⁾	8,264	8,342	8,837	1,309	1,422	1,764
	ATS ⁽¹⁾ (CAD)	3,033	2,533	2,937	348	66	320
	Emerson Electric ⁽¹⁾ (\$)	17,492	18,016	18,954	3,017	3,613	3,859
	Inovance	30,420	37,041	46,017	4,192	4,358	5,413
	Teradyne (\$)	2,676	2,820	3,077	516	548	642

(ご参考)USD換算後財務数値⁽²⁾

(USD MM)		売上高			営業利益		
		23/12	24/12	25/12(E)	23/12	24/12	25/12(E)
海外 マデハン	Honeywell	36,662	38,498	40,799	7,554	8,250	9,367
	Kion	12,638	11,909	12,928	684	798	914
	Kardex	777	819	1,011	100	106	118
	Interroll	661	582	656	100	86	93
	Durr	4,638	4,442	4,922	163	157	251
	Autostore	646	601	501	226	224	158
	Jungheinrich	6,130	5,582	6,310	470	432	225
海外FA	ABB	32,235	32,850	34,715	4,900	5,407	6,235
	Siemens ⁽¹⁾	84,687	92,589	95,901	10,773	11,257	13,833
	Schneider Electric	39,684	39,500	46,241	6,570	6,864	8,489
	Rockwell Automation ⁽¹⁾	8,264	8,342	8,837	1,309	1,422	1,764
	ATS ⁽¹⁾	2,240	1,762	2,081	257	46	226
	Emerson Electric ⁽¹⁾	17,492	18,016	18,954	3,017	3,613	3,859
	Inovance	4,290	5,075	6,473	591	597	761
	Teradyne	2,676	2,820	3,077	516	548	642

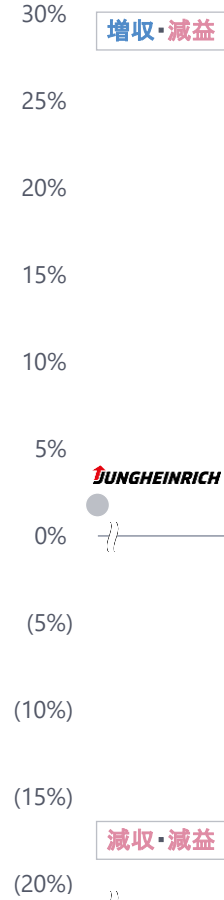
Source: 決算短信、決算説明会資料

Note: 散布図は報告通貨ベースの成長率で作成

(1) 24/12期と25/12期の比較が基本も、Siemens、Rockwell、Emersonは25/9期と26/9期、ATSは25/3期と26/3期を比較

(2) 2025年11月21日時点

(売上高成長率)



増収増益見込社数比率: **66.7%**





02

株価・バリュエーション推移

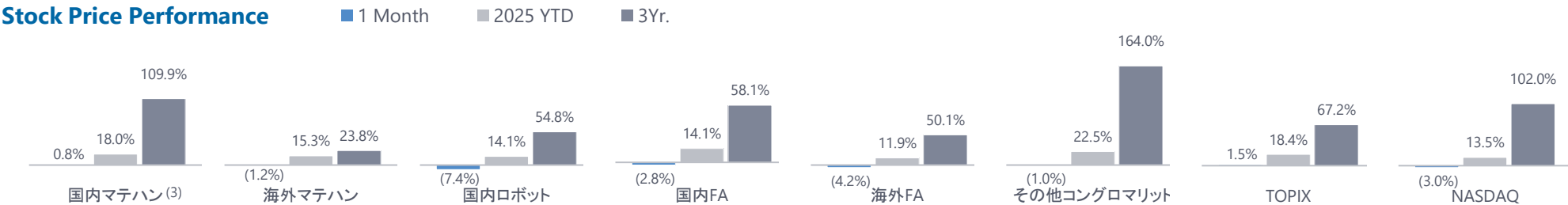
株価・バリュエーションサマリー

国内マテハンを除く各セクターの業績は好調な一方で、足許の株価は下落傾向。海外FAのマルチプルは高マージンを背景に高水準となっているものの、その他セクターは好調な業績に比して足許の株価が下落しているため、計算上のマルチプルは低水準に

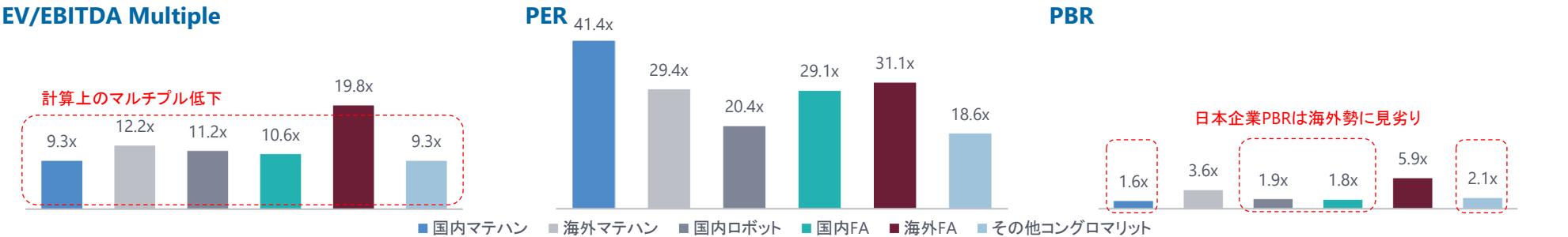
Trading Analysis Summary

	Stock Price Performance ⁽¹⁾				Multiples ⁽²⁾				FY2024A–2025E Growth		FY + 1 Margin
	1 Month	2025 YTD	3Yr.	EV/EBITDA	EV/EBIT	PER	PBR	Revenue	EBITDA	EBITDA %	
国内マテハン ⁽³⁾	0.8%	18.0%	109.9%	9.3x	17.1x	41.4x	1.6x	(0.3%)	(6.6%)	11.3%	
海外マテハン	(1.2%)	15.3%	23.8%	12.2x	19.2x	29.4x	3.6x	5.2%	13.0%	19.6%	
国内ロボット	(7.4%)	14.1%	54.8%	11.2x	17.0x	20.4x	1.9x	2.1%	5.7%	18.1%	
国内FA	(2.8%)	14.1%	58.1%	10.6x	12.7x	29.1x	1.8x	5.7%	16.0%	16.2%	
海外FA	(4.2%)	11.9%	50.1%	19.8x	24.1x	31.1x	5.9x	9.7%	33.2%	20.6%	
その他コングロマリット ⁽⁴⁾	(1.0%)	22.5%	164.0%	9.3x	14.2x	18.6x	2.1x	3.4%	9.9%	11.8%	
TOPIX	1.5%	18.4%	67.2%	--	--	--	--	--	--	--	
NASDAQ	(3.0%)	13.5%	102.0%	--	--	--	--	--	--	--	
DAX	(5.1%)	16.0%	60.6%	--	--	--	--	--	--	--	

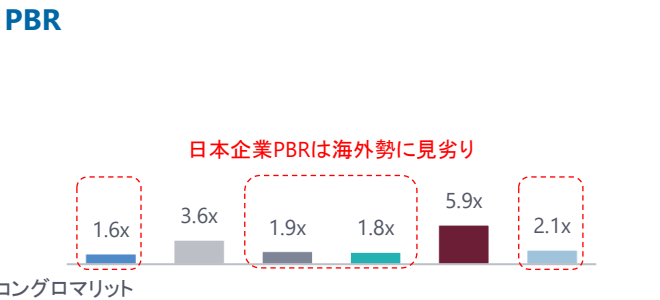
Stock Price Performance



EV/EBITDA Multiple



PBR

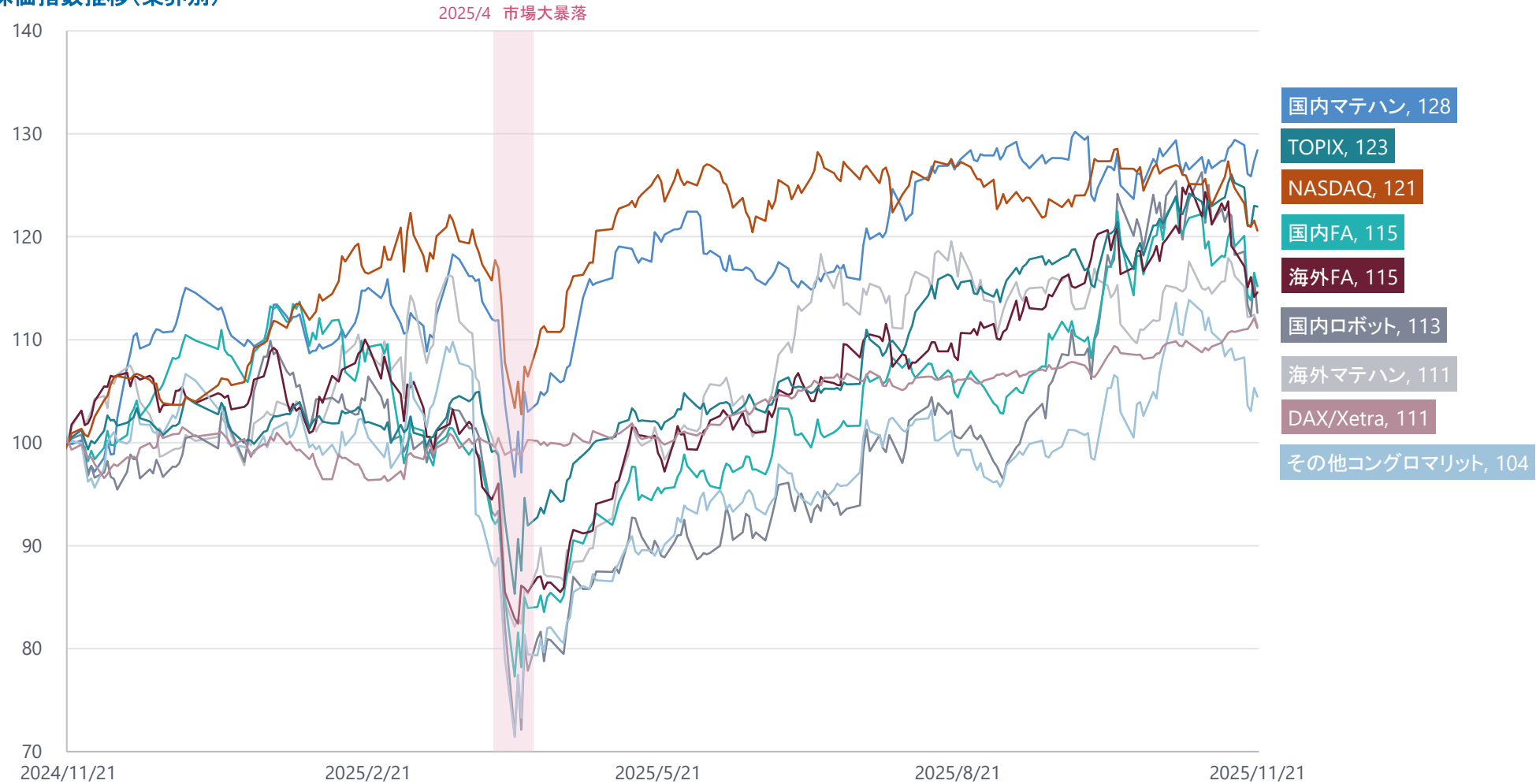


Source: Capital IQ
Note: (1) 2025年11月21日時点の株価を参照して各種計算
(2) Multiples について、PBR 以外はFY+1の数字、PBRはLTMを使用
(3) 国内マテハンについては、すべての計算から村田機械(非上場)の値を除外

株価推移 - 業種別株価推移(24年11月21日~25年11月21日)

トランプ政権の関税政策発表に伴い、2025年4月に市場が大暴落。以降は、関税追加引き上げや地政学リスクといったマクロ環境の不安定さは残りつつも、エンドマーケット市況は回復の兆しを見せていることから、各セクターの株価も右肩上がりで推移し、1年前比で全セクターの株価が上昇

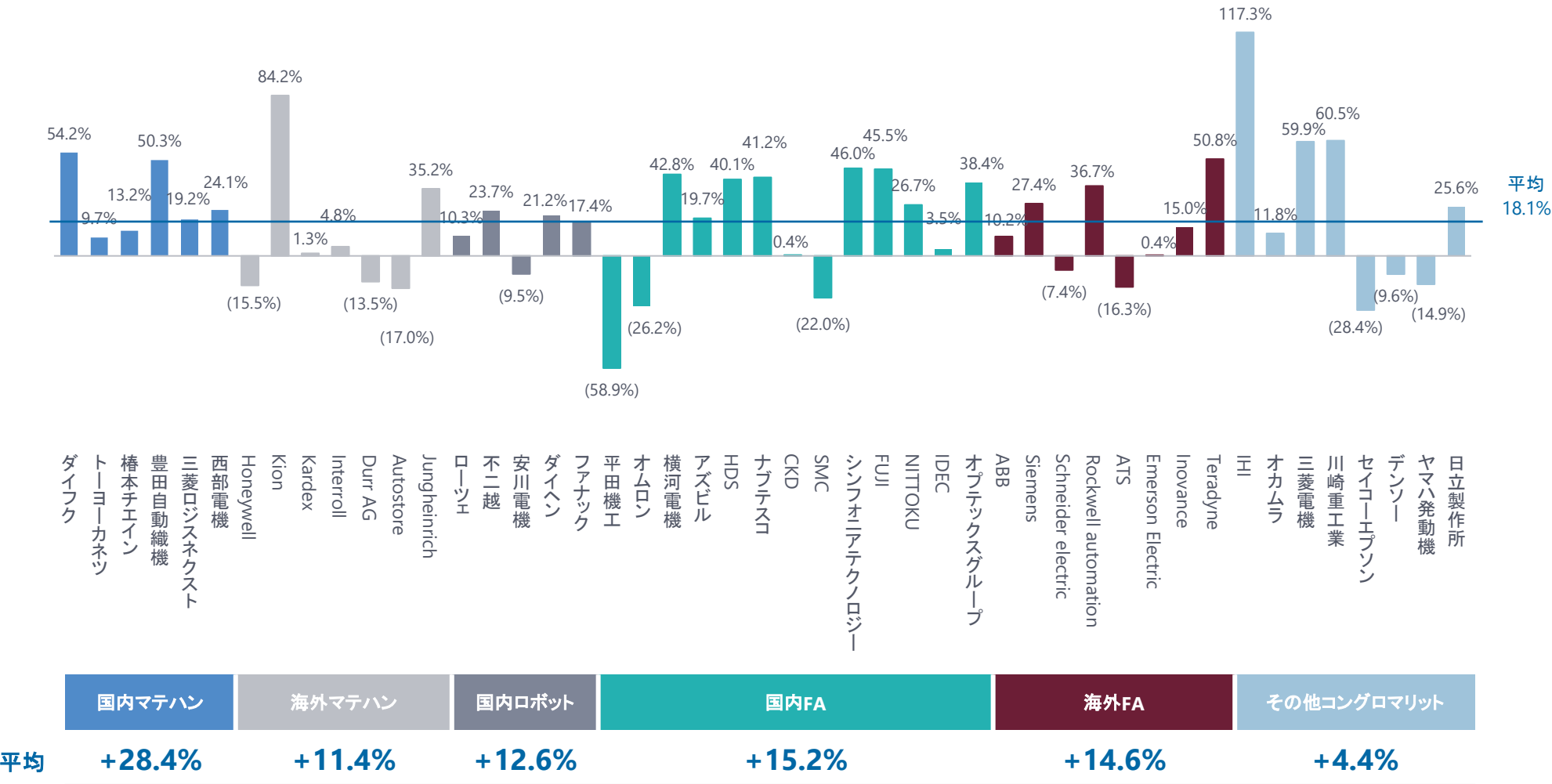
株価指数推移(業界別)⁽¹⁾



株価推移 - 個別企業株価騰落率 - 1年前(24年11月21日) vs 直近(25年11月21日)

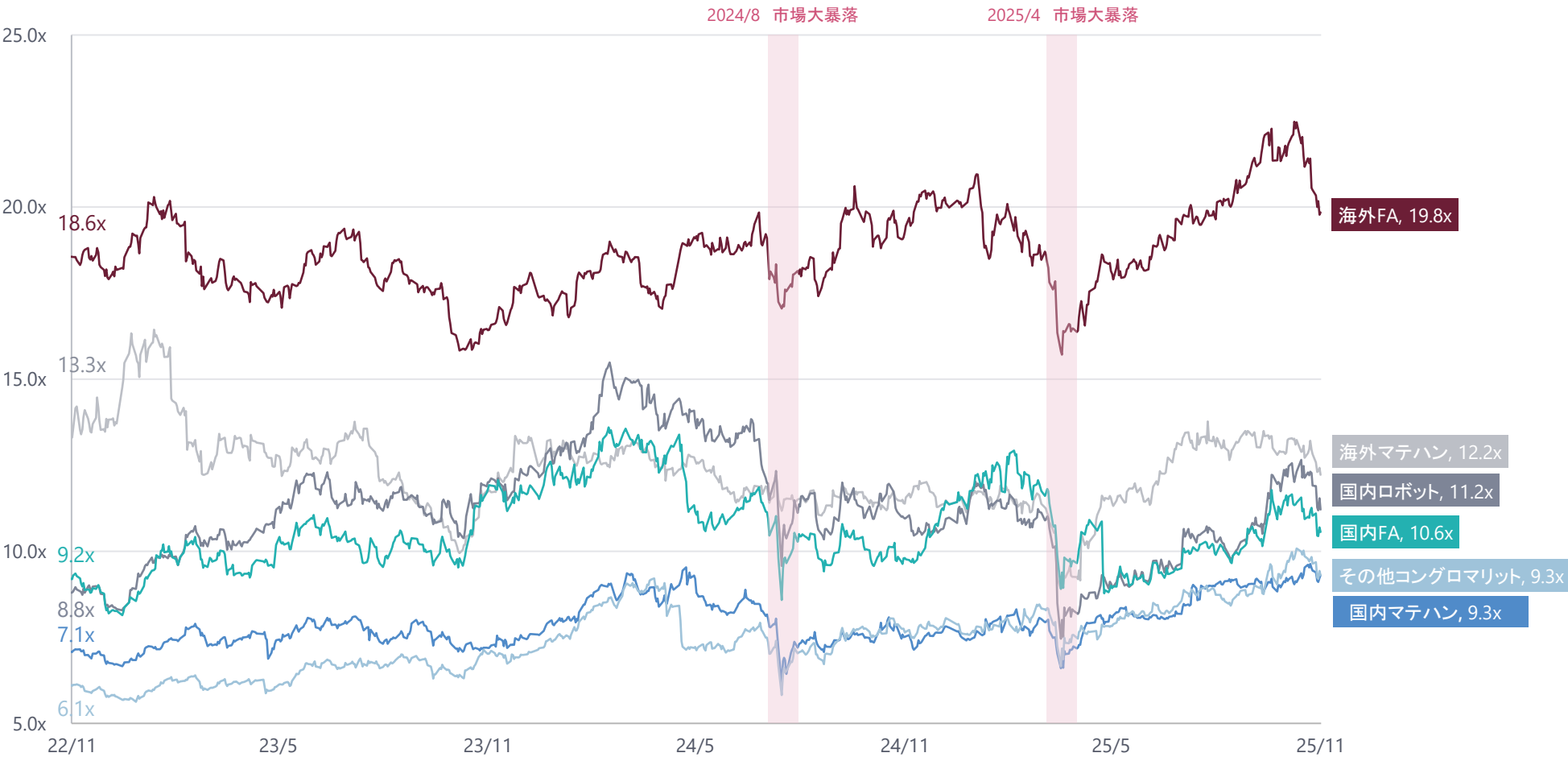
半導体等のエンドマーケットの市況が回復基調にあることを背景に、業績拡大を見込む企業が大半を占める。フィジカルAI等、自動化マーケットに対する市場の期待感も上がってきていることから、株価上昇を記録した企業が大半を占める結果に

各社株価騰落率⁽¹⁾



バリュエーション推移 - 業種別バリュエーション推移(22年11月21日~25年11月21日)

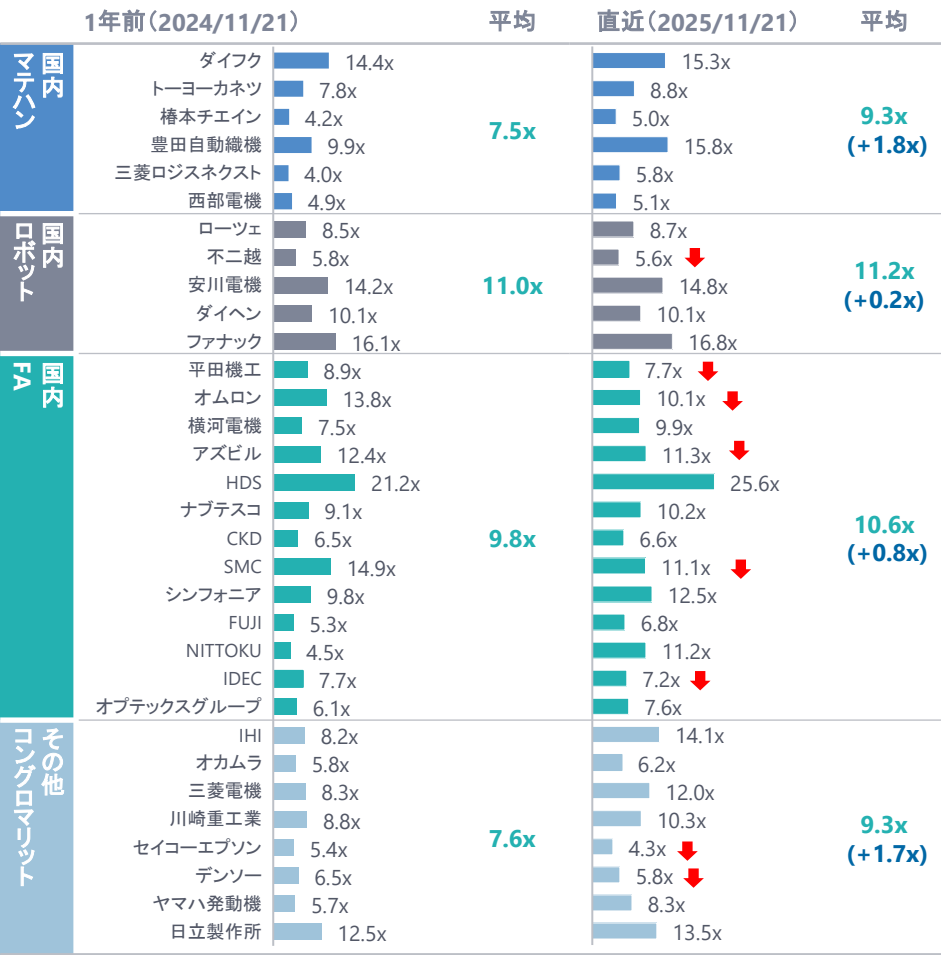
トランプ政権による関税政策の発表により市場が暴落したことにより、各セクターのマルチプルも一時的に下落したものの、5月以降はエンドマーケット市況の回復に伴い、株価も右肩上がり推移しマルチプルも上昇。国内企業については、全てのセグメントで3年前のバリュエーションを超えるEV/EBITDAマルチプル(平均)推移



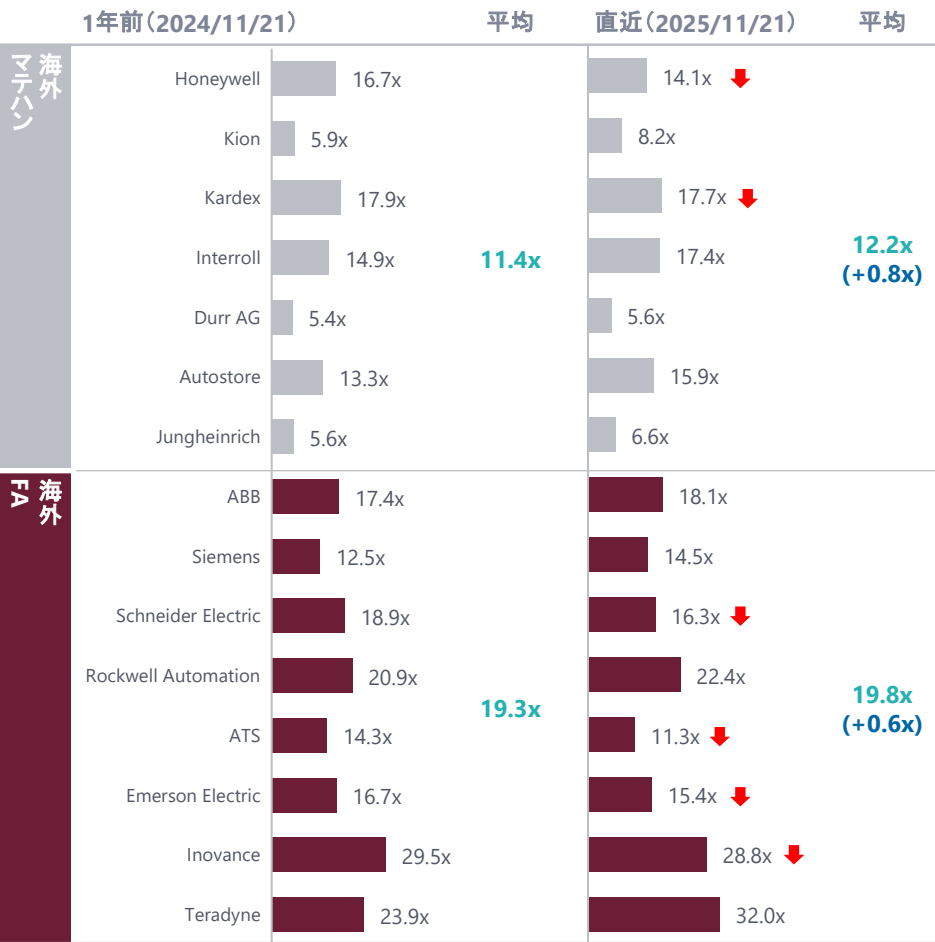
個別企業バリュエーション騰落率 - 1年前(24年11月21日) vs 直近(25年11月21日)

各社とも好調なエンドマーケット市況を背景に、業績改善を見込む一方、実績としての業績の伸び以上に、市場が将来の成長への期待を株価に織り込んだ(=株価の伸びがEBITDAの伸びを上回った)ことから、Valuationは上昇傾向にある

1年前と直近のEV/EBITDAマルチプル比較 (国内)



1年前と直近のEV/EBITDAマルチプル比較 (海外)



03

M&A動向



2026年のM&Aのテーマ

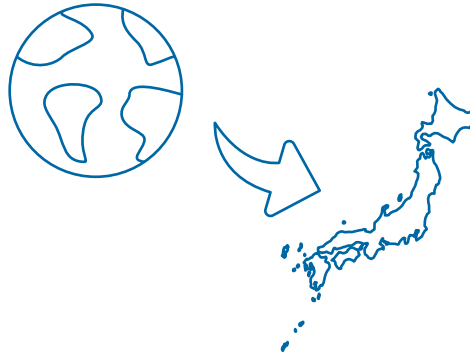
① 資本市場の圧力を受けた再編

- PBR1倍割れや、コングロマリットディスカウントの企業が、アクティビストからの圧力を受ける形で、**カープアウト**や**非公開化に踏み切る**



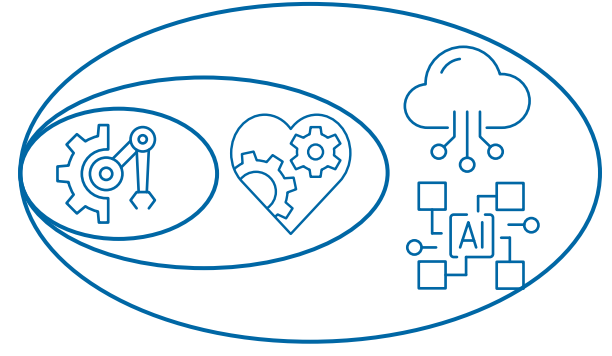
② インバウンドM&Aの増加

- 円安が進行するマクロ環境において、**日本企業の買収に動く海外企業・投資家が増加**
 - 円安 × 低バリュエーションで日本企業がターゲットに



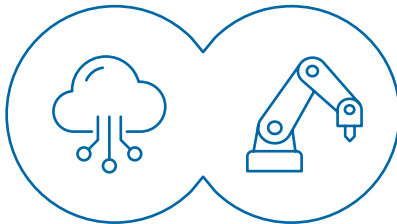
③ 高付加価値サービス企業の買収

- メーカーによる、リカーリング売上の獲得や、高付加価値サービスの確立を企図した**エンジニアリング・RaaSサービスを手掛ける企業の買収**が加速



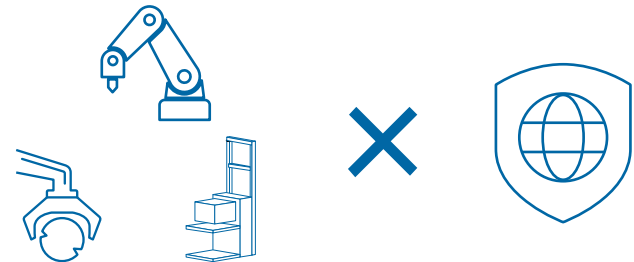
④ 製造業とテックの境界線消失(ソリューション力強化)

- IT層・OT層の統合が進み、加えてAIをキーワードに、IT領域におけるAIとOT領域の製品を連携させるフィジカルAIも注目を集める
 - **IT/OTプレーヤーによる、製品強化のためのメーカー機能買収**が加速
 - **製品を持つメーカーによる、OT領域強化のための買収**が加速



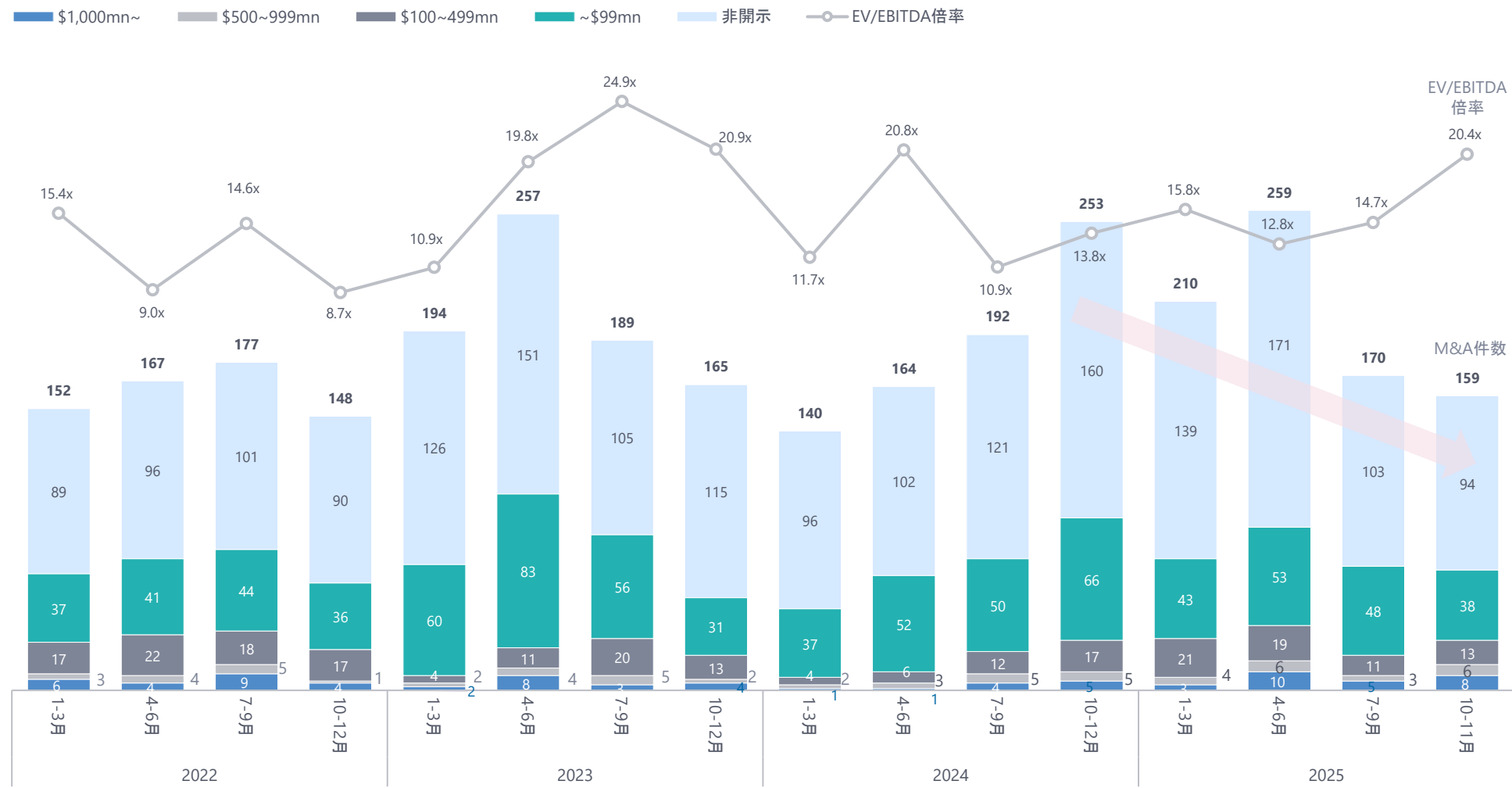
⑤ OTセキュリティ対策力の強化を企図した買収

- 複雑なシステム導入に伴ってリスクが深刻化 (e.g. 生産ライン停止等) し、高度な専門スキルの必要性も増加しており、FAメーカーの責任範囲は拡大傾向
- **異業種間協業によるセキュリティ対応を企図したM&A**が活発化
 - FAメーカー／プラントエンジニアリング × OTセキュリティプロバイダ
 - 大手ITセキュリティサービスプロバイダ × OTセキュリティ専門企業
 - 製造業向けSIer × OTセキュリティ専門企業



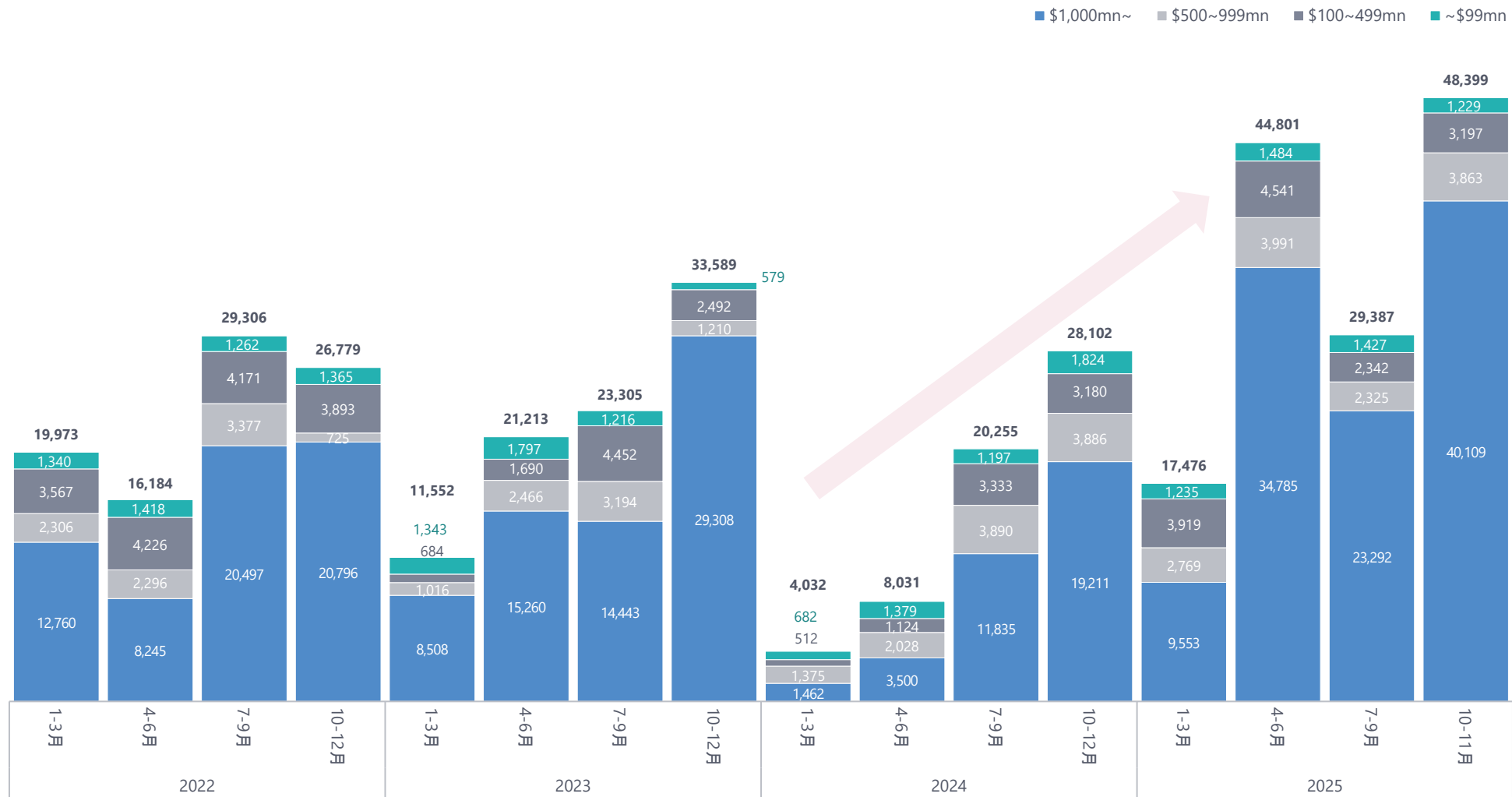
インダストリアルテックセクターのM&A動向 2022年以降のM&A案件数・平均EV/EBITDA倍率推移⁽¹⁾

24年後半はM&Aマーケットの回復が見られたものの、トランプ政権の関税政策による不透明感の増加や、政策金利の高止まり(2024年後半から利下げ局面に入ったものの、足許は各国で利下げの動きが停滞)による資金調達コストの増加等により、25年第3四半期以降は市況が停滞



インダストリアルテックセクターのM&A動向 2022年以降のM&A案件金額の推移⁽¹⁾

トランプ政権の関税政策や金利高止まりなどを背景とした投資抑制傾向はあるものの、2025年第2四半期以降は複数の大型案件が発表されており、市場規模(絶対額)は2024年前半に底を打って以降、上昇局面に入っている



Source: Merger Market
(1) 2022年以降のIndustrial Automation関連案件を対象として集計。案件金額はデータが取得できる案件のみで集計
(2) 2025/11/21まで

インダストリアルテックセクターにおける主要M&A - 2025年7月～ (1/2)

公表日	買手	対象企業	対象国	事業内容	買収価格 ⁽¹⁾ (USD MM)	取得比率 ⁽¹⁾
 2025/11/20	Rivean Capital	Engelmann Sensor		水道メーターや熱量計、流量計等のハードウェアやスマートメーター及びメータリングシステムを展開	NA	0%→100%
2025/11/13	Duravant	Matthews Automation Solutions business		倉庫実行システム(WES)やフルフィルメント等マテハンシステムやAMR・自動倉庫などを提供	NA	0%→100%
2025/11/12	荏原製作所	三菱電機 Factory Automation (Thailand)		三相モータ、IPM(名古屋製作所新城工場内)及び産業用モータ、ポンプ及びダイカストの製造・販売	NA	0%→100%
2025/11/12	Taiyo Pacific Partners	スター精密		小型プリンター・カードリーダー等の特機とCNC自動旋盤を中心とした工作機械の製造・販売	442	36%→100%
2025/10/31	菱電商事	北海道三菱電機販売		北海道地区におけるFA機器販売代理店事業	NA	0%→100%
2025/10/31	横河電機	Intellisync		サイバーセキュリティ及びデジタルトランスフォーメーションソリューションの提供	NA	0%→100%
2025/10/31	横河電機	WiSNAM		高度なグリッド制御及びエネルギー管理ソリューションの開発	NA	0%→100%
2025/10/24	StoneVenture CITIC Capital etc,	Neolix Technologies		自動運転レベル4の配送車両や自動運転配送ロボットを展開	600	- (資金調達)
2025/10/23	Xenon AIFM	Eles		半導体の信頼性試験装置の製造・販売に従事	62	0%→100%
2025/10/16	Molex Electronic Technologies	Smiths Interconnect Group		航空宇宙・鉄道・半導体テスト・医療業界等向けに電子部品を展開	NA	0%→100%
2025/10/13	Highland Capital Management Europe etc,	Ecorobotix		AIとロボティクスを活用した、農業向け超高精度ロボット噴霧システムの開発・販売	150	- (資金調達)
2025/10/13	Warburg Pincus	PSI Software		ERP・MES等のソフトウェアやユーティリティ向けプロセスオートメーションソフトウェア等を展開	812	0%→82%
2025/10/11	オムロンヘルスケア	JSR (Heartnote 事業)		家庭で心電図を記録できるデバイスやサービスである長期ホルター心電図解析事業を展開	NA	0%→100%

インダストリアルテックセクターにおける主要M&A - 2025年7月～ (2/2)

公表日	買手	対象企業	対象国	事業内容	買収価格 ⁽¹⁾ (USD MM)	取得比率 ⁽¹⁾
2025/10/8	ソフトバンクグループ	ABB (Robotics division)		産業用ロボットの開発・製造・販売	5,375	0%→100%
2025/10/1	Axcelis Technologies	Veeco Instruments Inc		半導体、化合物半導体、データストレージなどの分野 向けに製造・プロセス装置を展開	2,550	0%→100%
2025/9/30	日本産業パートナーズ	三菱ロジネクト		フォークリフトを中心とした物流・マテハン機器・システムや、部品の製造、販売及び保守サービスを提供	856	0%→100%
2025/9/29	AURELIUS	Landis & Gyr Group (EMEA)		電力・ガス・熱の計測機器やスマートグリッド関連ソフトウェアの提供	215	0%→100%
2025/9/25	Knorr-Bremse	Duagon		主に鉄道・医療機器業界向けの組込型通信・制御 ハードウェア・ソフトウェアの提供	585	0%→100%
2025/9/24	日立製作所	synvert		AI分析やデータ分析を利用したコンサルティングサービスを提供	NA	0%→100%
2025/9/18	オムロン	iCARE		法人向け産業保健・健康経営ソリューションサービスの 開発・提供	NA	30%→100%
2025/9/18	Johnson Controls etc,	PassiveLogic		デジタルツイン技術等を活用した自律型ビル管理プラットフォームの提供	74	- (資金調達)
2025/9/16	Humanoid Global Holdings	Agility Robotics		物流・製造業・小売業向けのヒューマノイドロボットの 開発・商業展開	0.1	- (資金調達)
2025/9/12	Crane NXT	Antares Vision		製薬・食品業界等向けの外観検査システム及びサプライチェーン管理ソフトウェアの開発・販売	416	0%→100%
2025/9/9	三菱電機	Nozomi Networks		OT(Operation Technology)セキュリティソリューション の開発・販売	883	7%→100%
 ⁽²⁾ 2025/9/4	Cadence Design Systems	Hexagon (D&E division)		有限要素解析や計算流体力学等に対応している CAE(Computer-Aided Engineering) ソフトウェアの提供	3,145	0%→100%
2025/7/1	Accenture	SYSTEMA		製造業の自動化に向けたソフトウェアソリューションと コンサルティングサービスの提供	NA	0%→100%

Source: 各種リリース、Mergermarket

(1) 公表ベース、
(2) Fairness Opinionを提供
(3) 1USD=155JPYで計算

Case Study: ソフトバンクグループ(SBG)によるABBロボティクス事業買収

ABBの持つロボットハードウェアや知見、グローバルプレゼンスと、SBGのAI技術を組み合わせることで、AIロボット技術確立し、グループとして掲げるASI(人工超知能)の実現を目指す

案件概要

- 買収額: 53.75億ドル(約8,187億円)
- EV/EBITDA倍率: 17.2x (2024/12期プロフォーマベース)
- SBGはASI(人工超知能)実現を掲げ、4つの柱(チップ/ロボット/データセンター/エネルギー)の立脚に向け、積極的な投資を進めており、本件を通じてAIロボットの強化を企図
- ABBの持つ産業用ロボットノウハウや欧州・米国・アジアの販路を、ソフトバンクロボティクスやBerkshire Grey等のリソースと組み合わせ活用することを企図
 - SBGのAIチップを最先端の製造現場の技術(ABB製ロボット)に搭載し、製造現場のデータ収集とAIロボットの標準プラットフォーム構築を目指す

ソフトバンクグループのロボティクス領域への投資実績



2019年

Berkshire Grey 

- 物流拠点において荷物の仕分けや運搬を行うAIを活用したロボットの開発・販売に従事
- 2023年にTOBを通じてソフトバンクグループが完全子会社化

2021年

AutoStore 

- キューブストレージ型自動倉庫システムを展開
- 2021年10月にオスロ証券取引所に上場(SBG持分は売却)

2021年

Agile Robots 

- AI搭載の産業用ロボット、ロボットハンド、及びヒューマノイドロボットを開発

2024年

Skild AI 

- 製造・物流・医療など様々な領域に1つのロボットが対応できるような、ロボット向け汎用AIの開発を手掛ける

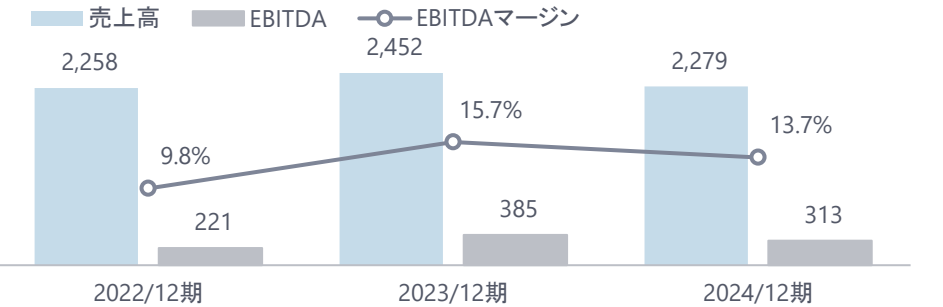
ABBロボティクス事業概要

- 産業用ロボットに加え、ロボット制御システムやソフトウェアシステムを手掛ける⁽¹⁾
- スウェーデン、US、中国の製造拠点及び、全世界で約7,000人の従業員を有する
- 2019年以降はほぼ全ての四半期で10%以上の利益率を維持

主要製品一覧



業績推移(\$MM)



Case Study : Honeywellのスピンオフ

Elliotからの株主提案を受け、従来のコングロマリット構造を解消すべく、各事業のスピンオフ上場プロジェクトが進行中。2026年下期にAutomation事業も単独で上場予定であることから、単一事業化によって従来のリソース配分が最適化され、M&Aを通じた積極的な事業拡大も予想される

スピンオフの背景

- アクティビストであるElliott Investment Managementが、\$5 billion (約7,500億円)以上を投資し、Honeywell経営陣に対して株価向上のための経営改革を要求していることを公表
 - コングロマリットであるがゆえに最適なリソース配分がなされておらず、企業価値を最大化できていないことを指摘し、[Automation事業とAerospace事業の分社化を提案](#)
 - 上記分社化によりHoneywellの株価が今後2年間で51%から75%上昇する余地があると主張
- 上記株主提案を受け、2024年10月にAdvanced Materials事業 (新“Solstice Advanced Materials”)のスピンオフを発表
- 加えて、[2025年2月にAutomation事業とAerospace事業の分社化を公表](#) (新“Honeywell Automation”、新“Honeywell Aerospace Technologies”)
- 2025年3月には、Elliotの幹部1名をHoneywellの取締役として招へいすることを含む諸条件についてElliotと合意しており、当該幹部が本スピンオフに関与していることが推察される

スピンオフのスケジュール



スピンオフの対象事業

#	対象事業	財務情報	事業内容
1	Automation	<ul style="list-style-type: none"> • FY2024売上高: \$16,591m • FY2024営業利益率: 22.0% 	<ul style="list-style-type: none"> • Industrial Automationセグメント: マテリアルハンドリング関連事業、センサー&安全技術、生産性向上ソリューション、プロセスソリューション等 • Building Automationセグメント: 各種ビル制御機器(空調制御、換気、照明制御等)、ビル運用・エネルギー管理等
2	Aerospace	<ul style="list-style-type: none"> • FY2024売上高: \$15,458m • FY2024営業利益率: 25.8% 	<ul style="list-style-type: none"> • 航空機(商用機)用装備・機器、航空機アフターマーケットサービス(保守、改修等)、航空電子機器・通信／ナビゲーション／センサー装備、防衛関連機器、衛星・宇宙分野向け装置等
3	Advanced Materials	<ul style="list-style-type: none"> • FY2024売上高: \$3,781m 	<ul style="list-style-type: none"> • 冷媒・フッ化化学製品、半導体材料・電子材料、保護繊維・高性能繊維材料、医療・ヘルスケア向け包材、包装素材等

Intentionally blank



04

Appendix. - Data Sheet

マーケットデータ(1/2)

会社名	時価総額	Net Debt	企業価値	EV/ Sales	EV / EBITDA	PER	PBR	Revenue	EBITDA	Net Income	自己資本	売上高成長率	EBITDA margin
	2025/11/21	Latest	2025/11/21	FY+1(E)	FY+1(E)	FY+1(E)	Latest	FY+1(E)	FY+1(E)	FY+1(E)	Latest	前期比	FY+1(E)
国内マテハン(億円)													
豊田自動織機	51,907	12,657	65,292	1.6x	15.8x	23.7x	1.0x	41,202	4,128	2,186	53,600	0.9%	10.0%
ダイフク	18,278	(1,655)	16,623	2.5x	15.3x	24.3x	4.3x	6,599	1,084	753	4,215	(10.5%)	16.4%
椿本チエイン	2,099	(383)	1,738	0.6x	5.0x	11.0x	0.8x	2,840	346	190	2,550	1.7%	12.2%
三菱ロジスネクスト	1,633	1,573	3,209	0.5x	5.8x	163.3x	1.3x	6,350	550	10	1,215	(4.6%)	8.7%
トーヨーカネツ	348	65	414	0.7x	8.8x	13.9x	0.9x	620	47	25	394	2.5%	7.6%
西部電機	341	(108)	232	0.6x	5.1x	12.1x	1.1x	361	46	28	312	8.2%	12.7%
			Mean	1.1x	9.3x	41.4x	1.6x					(0.3%)	11.3%
			Median	0.7x	7.3x	18.8x	1.0x					1.3%	11.1%
海外マテハン (USD MM)													
Honeywell International	120,641	24,856	146,469	3.6x	14.1x	18.9x	7.2x	40,799	10,382	6,371	16,782	6.0%	25.4%
KION Group	8,940	8,064	17,028	1.3x	8.2x	35.2x	1.3x	12,928	2,069	254	6,914	(2.3%)	16.0%
Jungheinrich	3,800	2,823	6,624	1.0x	6.6x	37.8x	1.3x	6,310	1,004	101	2,845	38.0%	15.9%
AutoStore	3,157	182	3,339	6.7x	15.9x	44.8x	2.1x	501	210	70	1,504	(16.6%)	41.8%
Kardex	2,521	-141	2,381	2.4x	17.7x	28.0x	8.4x	1,010	134	90	302	11.0%	13.3%
Interroll	2,223	-230	1,994	3.0x	17.4x	32.2x	3.9x	656	115	69	566	0.7%	17.5%
Dürr	1,483	502	2,009	0.4x	5.6x	9.2x	1.2x	4,922	358	162	1,241	(0.3%)	7.3%
			Mean	2.6x	12.2x	29.4x	3.6x					5.2%	19.6%
			Median	2.4x	14.1x	32.2x	2.1x					0.7%	16.0%
国内ロボット(億円)													
ファナック	44,922	(6,694)	38,383	4.6x	16.8x	27.8x	2.5x	8,297	2,291	1,616	17,704	4.1%	27.6%
安川電機	9,845	609	10,542	2.0x	14.8x	25.8x	2.2x	5,319	713	381	4,470	(1.1%)	13.4%
ローツェ	3,337	(343)	3,092	2.4x	8.7x	14.2x	2.9x	1,293	356	234	1,167	3.9%	27.5%
ダイヘン	2,008	443	2,606	1.1x	10.1x	13.9x	1.4x	2,365	257	144	1,445	4.5%	10.9%
不二越	857	585	1,489	0.6x	5.6x	20.2x	0.5x	2,376	266	43	1,613	(1.0%)	11.2%
			Mean	2.1x	11.2x	20.4x	1.9x					2.1%	18.1%
			Median	2.0x	10.1x	20.2x	2.2x					3.9%	13.4%

Source: Capital IQ
Note: アナリスト予想が取得可能な企業については、アナリスト予想値をもとに作成。トーヨーカネツ・三菱ロジスネクスト・椿本チエイン・西部電機・シンフォニアテクノロジー・オプテックスグループは会社予想をもとに作成

マーケットデータ(2/2)

会社名	時価総額 2025/11/21	Net Debt Latest	企業価値 2025/11/21	EV/ Sales FY+1(E)	EV / EBITDA FY+1(E)	PER FY+1(E)	PBR Latest	Revenue FY+1(E)	EBITDA FY+1(E)	Net Income FY+1(E)	自己資本 Latest	売上高 成長率 前期比	EBITDA margin FY+1(E)
国内FA(億円)													
SMC	32,963	(6,990)	25,974	3.1x	11.1x	21.1x	1.7x	8,251	2,333	1,563	19,733	4.2%	28.3%
横河電機	12,378	(1,621)	10,848	1.9x	9.9x	21.4x	2.6x	5,841	1,097	579	4,840	3.9%	18.8%
オムロン	7,413	497	9,535	1.1x	10.1x	21.2x	1.0x	8,367	944	350	7,778	4.4%	11.3%
アズビル	7,385	(773)	6,639	2.3x	11.3x	22.0x	3.2x	2,941	590	336	2,311	(2.1%)	20.1%
ナブテスコ	3,860	(92)	3,935	1.3x	10.2x	25.1x	1.4x	3,030	386	154	2,685	(6.3%)	12.7%
FUJI	2,854	(605)	2,250	1.4x	6.8x	15.4x	1.3x	1,646	330	186	2,223	29.2%	20.0%
HDS	2,632	(31)	2,601	4.4x	25.6x	156.0x	3.4x	596	102	17	768	7.0%	17.1%
シンフォニアテクノロジー	2,393	46	2,439	2.0x	12.5x	21.2x	2.9x	1,250	195	113	827	4.9%	15.6%
CKD	1,688	(37)	1,651	1.1x	6.6x	13.9x	1.2x	1,532	250	121	1,412	(1.6%)	16.3%
オプテックスグループ	859	(145)	714	1.1x	7.6x	14.6x	1.6x	660	94	59	535	4.3%	14.3%
IDEC	758	93	851	1.2x	7.2x	17.6x	1.1x	720	118	43	661	6.9%	16.4%
平田機工	639	217	858	0.9x	7.7x	11.6x	0.9x	913	112	55	705	3.2%	12.3%
NITTOKU	398	(75)	325	0.8x	11.2x	16.8x	1.0x	386	29	24	380	16.0%	7.5%
			Mean	1.7x	10.6x	29.1x	1.8x					5.7%	16.2%
			Median	1.3x	10.1x	21.1x	1.4x					4.3%	16.3%
海外FA (USD MM)													
Siemens	197,105	47,746	251,897	2.6x	14.5x	20.7x	2.8x	95,892	17,217	9,507	71,578	6.2%	18.0%
Schneider Electric	143,599	15,009	159,561	3.5x	16.3x	27.3x	4.6x	46,241	9,830	5,261	30,991	5.4%	21.3%
ABB	122,967	3,712	127,227	3.7x	18.1x	26.7x	8.2x	34,715	7,038	4,597	14,974	5.7%	20.3%
Emerson Electric	72,034	12,215	84,265	4.4x	15.4x	26.1x	3.6x	18,954	5,464	2,765	20,282	5.2%	28.8%
Rockwell Automation	42,521	3,179	45,757	5.2x	22.4x	34.1x	11.6x	8,837	2,042	1,246	3,654	5.9%	23.1%
Inovance	26,244	(612)	25,874	4.0x	28.8x	34.0x	5.4x	6,473	894	771	4,836	24.3%	13.8%
Teradyne	24,887	(29)	24,858	8.1x	32.0x	49.6x	9.2x	3,077	773	501	2,717	9.1%	25.1%
ATS	2,372	966	3,340	1.6x	11.3x	30.1x	1.9x	2,081	295	79	1,253	16.0%	14.2%
			Mean	4.1x	19.8x	31.1x	5.9x					9.7%	20.6%
			Median	3.8x	17.2x	28.7x	5.0x					6.0%	20.8%
その他コングロマリット(億円)													
日立製作所	213,705	(3,989)	211,436	2.1x	13.5x	26.7x	3.5x	102,798	15,663	7,998	61,197	5.1%	15.2%
三菱電機	85,087	(5,240)	81,177	1.4x	12.0x	23.1x	2.1x	56,668	6,748	3,680	40,480	2.6%	11.9%
デンソー	55,604	(44)	57,483	0.8x	5.8x	11.9x	1.1x	72,095	9,976	4,670	49,571	0.7%	13.8%
IHI	28,401	4,792	33,448	2.0x	14.1x	22.2x	5.3x	16,747	2,379	1,280	5,407	2.9%	14.2%
川崎重工業	16,710	8,138	25,468	1.1x	10.3x	19.9x	2.2x	23,170	2,463	838	7,618	8.8%	10.6%
ヤマハ発動機	10,835	5,994	17,365	0.7x	8.3x	22.1x	1.0x	25,706	2,092	491	11,065	(0.2%)	8.1%
セイコーエプソン	6,077	(90)	5,989	0.4x	4.3x	13.1x	0.7x	13,781	1,391	462	8,192	1.1%	10.1%
オカムラ	2,100	7	2,123	0.6x	6.2x	9.4x	1.1x	3,328	342	223	1,895	5.8%	10.3%
			Mean	1.1x	9.3x	18.6x	2.1x					3.4%	11.8%
			Median	0.9x	9.3x	21.0x	1.6x					2.8%	11.3%

Source: Capital IQ

Note: アナリスト予想が取得可能な企業については、アナリスト予想値をもとに作成。トーヨーカネツ・三菱ロジスネクスト・椿本チエイン・西部電機・シンフォニアテクノロジー・オプテックスグループは会社予想をもとに作成

Intentionally blank

留意事項

本プレゼンテーションは、フーリハン・ローキー株式会社（以下「フーリハン・ローキー」又は「弊社」という。）が貴社（以下「貴社」又は「受領者」という。）の為に、貴社内部限りの利用を前提として作成したものです。本プレゼンテーションは、貴社により今後実行される可能性のある一つ又は複数の取引について予備的な評価をする際の補助とすることを目的として作成されたものであり、本プレゼンテーションの内容の一部又は全部を公表する権利、また、いかなる第三者に対しても開示する権利も受領者に付与するものではありません。本プレゼンテーションは、貴社と協議する際の資料としての使用の為にのみ作成されたもので、弊社による口頭説明によって補完され、かつ、その説明との関連においてのみ考察されるべきものです。弊社の事前の書面による同意なしに、本プレゼンテーション及びその内容を他のいかなる目的にも使用することはできません。

弊社は、公共の情報源から入手した情報、その他弊社が独自に入手・検討した情報が、全て正確かつ完全であることを前提とし作成されたものであり、当該情報は、受領者が本取引を進めるか否かを評価するために必要とする可能性のあるすべての情報を含むとは限りません。フーリハン・ローキーならびにその役員、取締役、従業員、代理人および関係者は、本プレゼンテーションに含まれる情報（将来の予測、事業の推測、見込みまたは利益に関する成果または合理性を含む。）または受領者もしくはそのアドバイザーに対して書面もしくは口頭で提供されるその他一切の情報の正確性、完全性、クオリティ、妥当性または適切性に関し、現在または将来において、明示的にも黙示的にも表明または保証を行わず、義務または責任を負わず、かつ、それらの一切の責任は明示的に免責されます。本プレゼンテーションに含まれる一切の情報に関し、フーリハン・ローキーは独自の検証を行っていません。

本プレゼンテーションの内容は、法律、税務、規制、会計または投資に関する助言または勧告として解釈してはならないものとします。いかなる受領者も、本取引に関する法的事項その他の関連事項に関し、独自のカウンセル、税務アドバイザーおよび財務アドバイザーと相談すべきです。本プレゼンテーションは、すべての情報を網羅することを意図しておらず、また、貴社が必要とする可能性のあるすべての情報を含むことを意図していません。



Houlihan
Lokey

フーリハン・ローキー株式会社
〒100-6230 東京都千代田区丸の内 1-11-1
パシフィックセンチュリープレイス丸の内30階
+81 3 6212 7100
CORPORATE FINANCE
FINANCIAL RESTRUCTURING
FINANCIAL AND VALUATION ADVISORY

HL.com